

1. まえがき

長崎大学工学部安全工学教育センター第3号をお届けします。平成22年度はセンターの運営が定着した年でした。平成22年3月に、長崎大学工学部が主体となった「安全安心工学入門―安全安心は長崎から―」を古今書院から発行することができました。「安全安心は長崎から」とする副題は、先行する大学の皆様には申し訳なかったのですが、私たちの気概を示す意味があります。

この本を活用した教養特別講義や公開講座を開催し、学内外に内容を知っていただきました。安全安心について考えるきっかけとなれば、目的を果たしたと言えます。この本の刊行と九州工学協会賞の受賞から、長崎大学の取組みは全国的に知られるようになり、九工教ニュース、工学教育等から依頼原稿がありました。また、講演依頼も来るようになりました。これまで努力された皆様に感謝申し上げる次第です。

また、安全工学セミナーや産官学連携プロジェクトは工学部のPBL教育として、今後教育プログラムのひとつの柱となることが期待されています。平成23年度からの工学部の新しいカリキュラムの中で定着が望まれます。

安全工学教育センターは一定の役割を果たしました。平成23年から新しい工学研究科の中で新たな展開をすることを期待しています。

最後に、平成18年度から20年度にかけて文部科学省の現代的ニーズ取組支援プログラム「健全な社会を支える技術者の育成」の採択から、今日まで安全安心教育に取り組みされた関係者の皆様に感謝申し上げます。

高橋 和雄

目次

1. まえがき	
2. 組織	1
3. 実施報告	2
(1) 平成 22 年度「安全工学セミナー」報告	2
(2) 産官学連携プロジェクト実習	4
(3) 「情報セキュリティ」講義資料の作成	18
(4) 安全・安心教育特別講義	39
(5) 教養特別講義	67
(6) 高校生公開講座	94
(7) 長崎大学公開講座	108
(8) 横浜国立大学安心・安全の科学研究教育センター公開セミナーに参加	112
(9) 自主防災リーダー養成講座	125
(10) 火山セミナー in Unzen 2010	135
(11) 九工教ニュース NO.26 に寄稿	152
(12) 工学教育の特集「実験・実習に求めるもの」	157
(13) 安全安心工学入門の刊行	166
(14) 工学部における安全衛生活動への協力と安全衛生に関する学習	169
(15) 長崎大学工学部安全工学教育センターの紹介について	171
4. 長崎大学工学部安全工学教育センター内規	178
5. あとがき	180